

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス くろっく		
○保護者評価実施期間	令和8年 7月 21日 ～ 令和8年 8月 21日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15 (回答者数)	14
○従業者評価実施期間	令和8年 7月 21日 ～ 令和7年 8月 21日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 9月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子ども一人ひとりに寄り添った支援をチーム全体で考え行動している点です。活動プログラムにとらわれず、子どもの状態を確認しながら一人ひとりのペースに寄り添いながら、最適な支援を行えるようにしています。	・来所時の子どもたちの表情や行動をしっかり視診し、職員でしっかり話し合い、見直しをしながら活動を進めています。 ・子どもたちの声にもたくさん耳を傾けコミュニケーションを取りながらその日の状態にあった活動や環境を整えられるようにしています。	・職員間でしっかり子どもの様子を把握し、個人の課題を見つけないがそれに合った支援の検討を重ねていけるようにする。
2	・利用者やそのご家族様に安心感を持って子どもたちが楽しみに通所していると思っていただけているところ。	・子どもたちのストレングスを最善に生かせるようチーム一丸となって支援しています。子どもたちの「やってみたい!」「挑戦したい!」の声に耳を傾けています。	・今後も利用者やその家族の方々に安心感を得ていただけるようにより一層、子どもたちと関わりながら、本人の強みを引き出せる支援をしていく。
3	・		

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域活動が明確化されていない。地域の他の子どもたちと交流する機会が乏しい。	・地域の方々とどのように交流を図っていけばいいか不明。 ・放課後等デイサービスへの相手側からの理解を得る難しさ。	・地域の人へのあいさつや交流の場への参加。 ・地域の児童館等へ交流の計画を立てる。 ・地域行事への参加。
2	・家族に対しての支援プログラムや家族等の参加できる研修の機会を設けることができていない。	・一人ひとりの抱えている問題が違うため研修内容のテーマもなかなか難しい。 ・研修に参加するための時間の確保や、子どもたちの預け先の難しさ。	・家族が強く求めている場合は検討し開催していけるようにする。 ・保護者同士の情報交換をする場を設けながら、ニーズのを把握していく。
3	・父母の会など、保護者同士の交流が少ない。	・保護者の時間の確保。 ・保護者時の子どもの預け先の確保。 ・職員の確保。	・定期的に、保護者同士が交流できるイベントを検討し回数を分けて参加しやすいようにしていく。 ・活動室だけでは、参加人数に応じて狭さを感じてしまったので、広い場所を確保出来るようにしていく。